

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」女池神明校		
○保護者評価実施期間	2024年11月18日		～ 2024年12月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	68	(回答者数) 58
○従業者評価実施期間	2024年11月18日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年1月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さん一人ひとりにあったオーダーメイドの個別支援計画を作成している。	お子さんの状況や状態を丁寧にヒアリングさせていただき、特性や発達段階に合わせた支援計画を作成しています。また、お子さんが「楽しい」「通いたい」と感じられるよう、興味関心に合わせた教材の選定をしております。	引き続き、特性や発達段階をしっかりと見極めるとともに、専門スタッフ（言語聴覚士など）との情報交換を密に行い、より専門的な支援を目指します。
2	保護者支援が充実している。	毎支援後にその日の活動や最近の様子について保護者様とお話する時間を設けています。また、子育てサポートとして月に一度見学週間を設けており、実際に支援者とお子さんの関わりを見ていただいています。	今後は、同じ悩みをもつ保護者同士の関わりが持てるよう、保護者会の開催もしていきます。家族支援はご希望時に柔軟に対応できるよう体制を整えていきます。
3	職員間の情報共有を密に行っている。	ひとりのお子さんを複数の指導員で多角的に支援をしているため、お子さんの様子の引継ぎをしっかりと行っています。必要に応じて、ケース会議の実施もしています。	引き続き、職員間の情報共有を密に行っていきます。また、職員間のみならず相談支援員、園や学校などの関係機関との連携も充実させていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動によってはスペースが不足することがある。	座っての活動であれば十分な広さが確保されていると感じますが、ボールを使用したり身体を動かす活動を行うとなると、スペース上難しい面があります。	スペースやお子さんの課題に合わせた教材の選定を行い、どのお子さんも集中して支援を受けることができるよう配慮します。
2	職員の配置数に余力がない。	職員数について配置基準は満たされていますが、余力がないため体調不良等で不足した場合は、定員の調整を行う必要がありました。	職員のお休みが出た際、近隣校舎と職員の調整ができるよう、協力体制をとっていきます。同時に、職員の採用も進めます。
3	活動内容の周知が不十分なところがある。	イベント等の活動についてはLINEを通じて周知させていただいていますが、非常時等の対応については十分な周知がなされていません。	非常時等の対応について、契約時に丁寧に説明させていただくとともに、LINEなどのSNSも活用して周知いたします。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」女池神明校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

68

回収数

58

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	46	10	2	0	・ボール遊びの時に場所が狭くないか 気になる(他の子に迷惑?) ・少し狭い気がするのと、周りの声 気になる時があります。	スペースやお子さんの課題に合わせた教 材の選定をしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	49	6	1	2	・たまに不足しているようでお休みに なるイメージがある。 ・担当の先生の受け持ち期間が短い。 ・お休みを依頼されることもあるので、 足りないのかなと感じる時もあります。 ・たくさん先生に関わって頂き、しっか	定員に応じた職員数を配置しておりま す。やむを得ず校舎間での職員の異動や 行き来があった際には、お子さんや保護 者様が安心してご利用できるよう、情報 共有を密に行います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	51	6	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	51	6	1	0	・学習と身体を動かす療育が同じ空間で 行っており、少し集中にかけると思うこ とがあり配慮してほしいです。 ・もう少し広ければ最高ですが、中央区 ですし仕方無いと思います。	スペースやお子さんの課題に合わせた教 材の選定をしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	55	2	0	1	・特性にあわせ、今後のことを考えプロ グラムを考えてくださってありがたい。 ・STの方が居たり私の質問に適切に答 えてくださったり心強いです!!	引き続き専門性の高い支援が提供できる よう努めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	54	0	0	4	・公表しているプログラムが分かりま せん。	ホームページにて支援プログラムが公表 されています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されて いると思いますか。	58	0	0	0	・学習面で特に苦手な所復習やくり返し 行ってくださいるので助かります。	引き続きニーズや課題をしっかりと分析 した上で個別支援計画を作成いたしま す。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	53	2	0	3	・高校卒業の支援等あれば幸いです。 ・丁寧に話を聞いて下さり様子を伝え て頂き、時間を掛けて計画を立てて頂き ました。	きらりを卒業した後でも安心して生活がで きるよう、社会に移行する際のお手伝い をさせていただきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	55	2	0	1	・時間内でYouTubeを観る時間をもう少し 減らしていただきたい。	お子さまの課題に応じて、電子機器の使 用を検討していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	51	4	1	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	4	12	17	25	・個別指導というイメージが強い。 ・地域(町内子供会など)集まりはある が、年間の回数が少ない。 ・必要を感じていないのでなくてよいで す。 ・個別指導をして頂いているので特に他 のこどもとの活動を希望していません です。	ご希望があった際に検討いたします。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	56	0	0	2	・ごめんなさい。支援プログラムにつ いて理解していませんでした。 ・丁寧に説明して頂きました。	ホームページにて支援プログラムが公表 されています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	58	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	35	12	0	11	・講演会などあっても、なかなか参加 できなく残念である(毎回利用時の会話 でベアトレのような話ができありがた い)。 ・研修会についてzoomや後日記信など 行って頂けると参加できていいと思いま す。	家族支援はいつでも行っております。ご 希望がありましたらお声がけください。 研修会や講演会の機会がある際には、周 知いたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	56	2	0	0		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	51	6	0	1	・面談日以外でも話をしてもらえ助かっている。 ・モニタリング時には行っていますが、もう少し面談の頻度が増えてもいいなと思うことがあります。	家族支援はいつでも行ってあります。ご希望がありましたらお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	57	0	0	1	・特別な環境なのでよくわからない。	今後も、お子さんや保護者様への共感を大切に支援をして参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	13	9	24	・〇〇会などはわからないが、きょうだいの話を聞いてもらっている。 ・兄弟がない為わかりません。 ・必要を感じていないのでなくてよいです。	ご家族やきょうだいへの支援の機会の提供に努めます。 家族支援はいつでも行ってあります。ご希望がありましたらお声がけください。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	46	4	0	8		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	53	1	0	4	・LINEで気軽に連絡できるでありがたいです。	引き続き、細やかな情報伝達を心掛けて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	40	7	0	11	・最近SNSを拜見しておらず申し訳ございません。	自己評価の結果はホームページにて発信、事業所に掲示します。行事や活動内容もSNSを通じて発信します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	57	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	37	6	0	15	・訓練があるのかよくわからない。 ・特に子からの説明がない状態です。	わかりやすく周知できるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36	4	1	17	・訓練があるのかよくわからない。 ・特に子からの説明がない状態です。	わかりやすく周知できるよう努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	43	5	0	10	・訓練があるのかよくわからない。 ・特に子からの説明がない状態です。	わかりやすく周知できるよう努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35	4	0	19	・よくわからない。 ・事故などを起こしたことがないのでわかりません。 ・特に子からの説明がない状態です。	万が一事故等が発生した際には、迅速かつ丁寧な対応に努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	56	2	0	0	・きらりに行ったあとの帰り道はきらりでの話が沢山聞かれます。	ありがとうございます。引き続き、お子さんにとって安心できる場所となるよう努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	48	9	0	1	・宿題ができるから。 ・年齢的に楽しみを目的に通所していないが、本人「イヤ」とは言わず通うことができています。	活動の中で、お子さんが「楽しい」と感じる場面がたくさんもてるよう工夫して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	55	3	0	0	・勉強を教えてもらっているのがうれしいです。 ・いつも母への気づかいも頂き、ありがたく思っています。 ・自分以上に我が子のことを考えてくれているのがわかります。	ありがとうございます。来年度も引き続き、お子さんにも保護者様にもご満足いただけるよう、いただいたご意見を踏まえ取り組んでいきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」女池神明校				公表日	2025年 2月 15日
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		適切にスペースを確保できていると感じます。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		職員に体調不良があった場合や利用者の幼い兄弟が来所された際に手詰まりを感じる時はありますが、他の教室から応援をもらうことで対応しています。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		支援ブースをわかりやすく構造化しています。	風除室入口のバリアフリー化は難しい状況ですが、職員で出来る限りのお手伝いをさせていただきます。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		おおむね毎日掃除をおこなっています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○			半個室のため完全な個室があるとお良いと感じていますが、仕切り等でパーソナルスペースが確保できるよう努めます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		管理者を中心に事業所ミーティングで都度確認して振り返りをおこなっています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年実施して、結果を職員で共有して業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表などを通して職員の意見を把握し、業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			外部からの評価を受ける機会がありません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。		○	法定研修をはじめ、テーマ研修や事例研修を行っています。		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		ホームページにて支援プログラムが公表されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		適切に計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画作成の際は、児発管と担当指導員で情報共有を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画作成会議をおこなうことで、職員間で現状・課題の把握をおこなっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルなものは事業所では取っていないため外部で実施したコピーをいただいています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		適切に設定されています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ひとりのお子さんにおおむね3名の指導員がついています。		

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・ひとりのお子さんにおおむね3名の指導員がついています。 ・適宜FB時等で保護者から情報収集をしたり職員間で相談を行うことで工夫をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		イベントやお楽しみの時間で集団活動も行っています。	個別支援を基本とするため集団の時間の確保が難しい面もありますが、柔軟に対応できるよう努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝打ち合わせをおこなっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○		毎日職員間で支援の様子を共有して振り返りをおこなっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日記録を記載し、次の支援の検証・改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングをおこない、支援計画の見直しをおこなっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			「地域交流の機会の提供」はおこなっていません。必要に応じて検討いたします。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己決定を尊重しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			基本、児発管が参加していますが、今後は必要に応じて指導員も参加していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			外部とのつながりは少ないです。必要に応じて検討いたします。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎がないため、保護者を通じて行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			すべての利用者に行っているわけではない状況のため、すべての利用者でおこなえるよう努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			障害福祉サービスを利用する者が少ないため情報提供の機会は少ないですが、該当の方がいた場合は十分な情報提供をします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターころんなどの施設とのやりとりがあるため、相談する時はスムーズにおこなえるかと感じます。	助言を受ける機会が少ないため、積極的に助言を求めたり研修に参加する等していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域の子どもと交流する機会は少ないので、地域向けのイベント等を企画していきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			協議会の活動内容を認識していなかったため、今後機会を設けて参加していきたいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の支援後にフィードバックを行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		イベントにおいて、親子参加型の物や、保護者向けのものを行っています。	ペアレントトレーニング等の研修の機会の提供は、あまりできていないので、積極的に研修会の情報を提供していきたいです。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明をおこなっています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング等をおこなうことで利用者様の意向をうかがって支援計画を作成おこなっています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		児発管を中心に責任をもって説明をおこない、同意をえています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		児発管を中心に、家族支援に努めています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		ママカフェを実施しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		適切に対応できる対応を整えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		LINEで発信しています。	SNS、HPはうまく活用できていないので、他事業所を見習って活用していきたいです。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きロッカーに保管し、取り扱いには十分に留意をしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じてお手紙やLINE等を使用して意思疎通・情報伝達をおこなっています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			安全を考慮して、慎重に検討したいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		防災訓練は各種マニュアルを基におこなっています。	おこなう際に周知のチラシを掲示しておりますが、さらにLINEを通して実施日を利用者様に周知していきたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		職員間での訓練を中心におこなっています。利用者様参加型の訓練は年に1～2回おこなっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		基本情報シートを活用してお子さんの状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			食事を提供していません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理が十分な環境で支援をおこなっています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約の時に説明おこない、周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		必要に応じて作成し、再発防止にむけて話し合いをおこなっております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		委員会メンバーが様々な角度から研修を企画しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約の時に説明おこない、支援計画に記載しております。		